

赤い羽根共同募金の
助成を受けています。

東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

福玉便り

ふく たま だ よ り

9月
& 10月号

2019年9月1日発行

通巻 第79号

発行:『福玉便り』編集委員会 NPO法人埼玉広域避難者支援センター・(一社)埼玉県労働者福祉協議会

協力:生活協同組合コープみらい埼玉県本部

連絡先:NPO法人埼玉広域避難者支援センター 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤 6-4-21 ときわ会館4F TEL080-4331-0290

福玉「バーベキュー大会」 に参加しませんか

埼玉労福協と連合埼玉でつくるネットワーク SAITAMA21 運動は、日高市のサイボクハムレストランにおいて、恒例の福玉バーベキュー大会を開催します。

10月19日(土)と言えば「食欲の秋」まっさかり。埼玉県で9年目の「避難生活」をされている皆さんの交流の場です。家族で、友人・知人と、避難元の知り合いと、楽しいひと時を過ごしましょう…そしてサイボク商品が当たる抽選会も行います。

サイボクハムと言えば、あの「ゴールデンパーク」の牧場です。時間はちょっと早ですが、早起きして日高市までお越し下さい。南越谷駅からは、参加者用福玉バスも出ます。

●開催日 2019年10月19日(土) 午前10時20分～12時30分

●会場 サイボクハムレストラン(埼玉県日高市下大谷沢546)

●参加費 大人 500円(高校生以上)

※中学生までは無料(ドリンクバー付)

●募集 150名(座席の関係がありますので先着順で×切ります)

●備考 ①参加申し込みは、9月9日(月)午前10時から埼玉労福協(電話048-833-8731)で受け付けます。②南越谷・さいたま新都心からは「福玉 BBQ バス」をご利用下さい。《往路》 *南越谷(7:30)⇒さいたま新都心(8:30)⇒サイボクハム 《復路》 *サイボクハム(14:30頃)から逆コースで南越谷まで

※バス利用料金 大人(高校生以上)=1,000円、中学生以下は無料 ③自己負担ですが、ビールなどのアルコールも飲めます。

川口市内の皆さん～あつまれ～ 第22回福玉交流サロン in 川口を開催します。

皆様のご要望をお受けしながら、埼玉県内各地を巡回する福玉交流サロン、2019年度第2回は川口市で開催します。今回のテーマは「福島県の秋の味覚」自慢大会です。みんなで家庭料理を作って食べ、美味しい商品をゲットして下さい。

●日時: 2019年9月26日(木) 午前11時から午後2時(流れ解散)

●会場: やすらぎ会館(川口市南鳩ヶ谷6-8-16/川口市社会福祉協議会)

●参加費: 500円

●募集人数: 40人

●主催: (一社)埼玉県労働者福祉協議会/ふくしまと繋がる・福島とつなげるPJ

●協力: 福島県復興支援員埼玉事務所/富岡町県外避難者支援拠点

●備考: 参加申し込みは、9月9日(月)午前10時から埼玉労福協(電話048-833-8731)、または復興支援員(各事務所)までお願いします。

いわきでおあがんなんしょ～再会交流会～(第102回)

福島に帰還された方々、おあがんなんしょにご縁のあった方々にお声かけして、歓談交流の時を持ちたいと思います。こちらからは24～5名がバスで行きます。

●日時: 10月20日 11:30～13:30

●場所: いわき市ワンダーファーム森のキッチン

●内容: 食事と歓談で旧交を温めましょう

●他: Jヴィレッジ見学 いわき・ら・ら・ミュウで買い物

*みなさんそれぞれが福島に帰られた方々、ご縁のあった方々にお声かけをして再会の輪を広げましょう

連絡 問い合わせ 松館(090-5345-8408)

“みよしまつり”にて大熊町出店 「おおちゃん小法師絵付け体験」

●日時: 9月7日(土) 15:00～20:30

(雨天の場合は、8日(日)に延期)

●場所: 三芳町立運動公園および三芳町役場庁舎周辺

●問合せ: TEL049-258-0019(三芳町役場 自治安心課)



▼ 所沢青空あおぞら

交流会「所沢青空あおぞら」は、新所沢公民館で毎月第四日曜日に開催しています。

いつもは専門家と交えながら、健康や暮らしの法律などについて情報交換をしたり、お菓子づくりをしたりしています。毎年7月下旬には、納涼会を実施しており、今年で6回目となりました。



今年の納涼会は、会費の一部を福玉支援センターにご支援いただき、楽しいひと時を過ごすことができました。ありがとうございます！

8月はお休みをいただきますが、9月は第四日曜日となる22日に実施します。初めての方もぜひお越しください！

問い合わせ先：震災支援ネットワーク埼玉 事務局：090-8879-0213 (担当：愛甲)



「交流会を開きたい！」をかなえたい

プロジェクトを**募集**します！

福玉支援センターは、このたび「げんきかい?」という、避難者の方の再会、交流の機会づくりを促進するプロジェクトを開始しました。今月号の福玉便りで、「所沢青空あおぞら」の、「げんきかい?」としての交流会が紹介されています。

以前、その「あおぞら」の参加者の方から、納涼会を開催したいとの話を伺い、福玉支援センターとして応援できないだろうか……と、このプロジェクトを計画しました。「こんな交流会を開いてみたい」「あの人とあの人をつなぎたい」など、避難している方々の集まる場を作りたい思いを、福玉支援センターでサポートできればと考えています。皆さんも是非、ご応募ください。

げんきかい? プロジェクトについて

(1) 趣旨:

避難をしている方の、「交流会を開きたい」「あの人に声をかけたいな」という思いを形にできるよう、再会/交流の場づくりを応援すること。

(2) きまり:

避難者を含めた3名以上の会合。交流会後は、『福玉便り』に交流会の様子(記事、写真)を送付してください。こういった「輪」が広がっていくためにも、掲載をお願いしたいと思います。

(3) 手順:

交流会の代表者が、福玉支援センターに連絡(メール: fukutama@431279.com、電話 080-5532-7380(担当: 薄井))してください。福玉支援センターから申込書を送付しますので、開催日、場所、代表者の連絡先などを記入し、返送してください。福玉支援センターから活動費として、1,000円/人を送金します。交流会後は、交流会の様子の写真や内容を簡単で結構ですので、福玉支援センターにお送りください。『福玉便り』に掲載いたします。

福玉相談センター 相談・交流会を狭山市で開催しました

2019年6月21日(金)、今年度第1回目の相談・交流会でした。

狭山市といえば、なんといつでもお茶！

色は静岡、香りは宇治よ、味は狭山でトドメさす(茶作り唄より)

入間市、所沢市とともに「狭山茶」の主産地です。また、明治9年に埼玉県内初の機械製糸工場が創設され、群馬県富岡や福島県二本松と並ぶ国内屈指の優等品を生産する製糸工場となり、海外にも輸出されていたそうですよ。都心からも近く、利便性もある



ので今や人口15万1千人を擁する中堅都市ですが、自然そのままの森林と整備された菖蒲園、公共施設が点在する智光山公園、芝生と桜が見事な県営狭山稲荷山公園、自然林に囲まれた赤坂の森などがあります。現在、都市公園は32か所、街中の身近な公園などを含

めると194か所。イベントなどの開催はもちろん、災害時には避難場所などにも利用することができそうです(狭山市のHPより)。

という狭山市の狭山市駅前にある市民交流センターで午後1時より開催しました。

まず福島県避難者支援課埼玉駐在の菅野さんから今年度の「避難者支援の取組」についての説明がありました。その後、埼玉県住宅課、埼玉県社会福祉士会より住宅確保・移転サポート事業についての説明と案内がありました(78号P3で紹介済み)。参加者からは避難者支援活動助成への質問や県営住宅の現状などについて質問が出されました。

次に、開催地である狭山市の福祉こども部福祉政策課の小田切主査から多くの資料(『さやま生活ガイドブック ようこそ狭山市へ』『あんしん介護保険』『入間川洪水ハザードマップ狭山市』)をいただき、それらを見ながら狭山市の取組を詳しく伺いました。狭山市は震災・原発事故により避難されてきた方々を多く受け入れ、その後も様々な支援を継続してこられた自治体の一つです。現

在も「教育支援」として、避難してこられた家族の小中学生のお子さんに生活支援金を支給されているそうです(入学時には入学支援金をプラス)。そうした取組にも見られる厚い支援の視点は、「トータルサポート推進室」事業にも反映されています。これは、困り事・

気にかかる事があってもどこに相談してよいかわからないという場合に話を聞いてくれて、課題を整理して関係機関とチームを作って支援するという仕組みです。「避難者の方もひとりで抱え込まないでなんでも推進室にご相談ください。」と小田切さん。また「洪水ハザードマップ」は自分の住んでいる地域の状況が一目でわかり、災害時に必要な情報が網羅されていました。「こうした相談室や災害時の情報こそ避難されてきた方々にぜひ伝えて、安心して狭山市で生活していただきたい」と思っておられるのがとてもよくわかりました。

さて、第2部は、医療生協さいたま所沢診療所と医療生協さいたま狭山支部会員の皆様にご協力いただき、参加者全員で健康チェックを受けました。今回は、骨密度・握力・血圧を測定し、最後に看護師の個別評価を受けるといふコースで、「初めて骨密度を測定した。参加してよかった」と喜んでいました。医療生協さんからの情報として、西部地区の活動情報と「くらしサポーター」の案内がありました。「くらしサポーター」とはくらしの中の困りごとを互いに助け合う活動で、埼玉県内14市で行われています。狭山市も立ち上げてサポーター(援助者)になっていただけの方を募集中だそうです。市のトータルサポート推進室と同様に困った時に頼りにできる支援情報ですが、こちらは組合員同士が助け合うボランティア活動です。で、ちょっとしたお手伝いを気軽にお願いしたい時にはとても助かりそうです。また、時間や都合が合う方は、趣味や特技を生かして支援者としてご協力いただけたら地域での交流の機会にもなりそうです(いずれも組合員なので入会する必要があります)。こうした支援の活動が住んでいる地域に多種多様あることをぜひ知っていただき、自分の事情に合わせてうまく活用していただければと思います。



その後は、脳トレゲームや歌を歌って気分をリフレッシュさせ、お茶を飲みながら歓談の時間を持ちました。偶然にも同じ町に住んでおられた方々は故郷の話で大いに盛り上がったようです。個別相談用に別室を用意しましたが、今回は使用しませんでした。健康チェックの際に看護師さんから「運動や食事も大切ですが、交流の場に参加して賑やかに過ごすことが健康の秘訣ですよ」と教えていただきました。今回、市内に住んでいる福島からの避難者の方と出たいと願われて、初めて交流会に参加して下さった方もいらっしゃいました。今回は参加者が少なく残念でしたが、「また狭山市で交流の機会を作りましょう」という声が出ましたので、今回参加できなかった狭山市および近郊にお住まいの皆さん、ぜひ次回はお越しください。ね。

(福玉相談センター・薄井)

「高年齢の親御さんがいらっしゃる方へ」 避難先でも介護保険サービスの利用が可能です

避難生活の開始から9年目を迎え、親御さんが齢を重ねる中、同居中のお子さんとつとてお世話をする負担が大きくなっていたり、別居している場合に心配を抱えていらっしゃるケースが多く見受けられるようになってきました。

親御さんの足腰など、からだに弱ってきていたり、家に引きこもって全く外出しなくなっていたり、物忘れをするようになってきたなど、と思つたら、親御さんの現在地のお近くの役所の介護保険の担当部署（健康福祉課など）にまずはご相談しましょう。

介護保険の減免措置の延長

さて、介護保険料の納付は40歳から始まり、65歳までは健康保険と同時に納め、65歳からは一般的には年金から天引きとなっていますが、帰還困難区域等及び上位所得層を除く旧避難指示区域等の被保険者への介護保険料の減免措置は平成32年3

月分まで延長する予定となっています。

また、東日本大震災および原発事故による避難の場合、住民票を異動していない場合でも、避難先の自治体が窓口となり、避難元自治体と連携しながら、介護サービスを受けることができるようになっていきます。

介護保険証をチェック

介護サービスを受けられるのは、基本的には65歳になつてからとなっています。通常65歳になつたときに、介護保険サービスが利用できる資格を示す「介護保険証」が郵送されてきます。もちろん避難元の役所に避難先の住所を届けていない場合には送られてきませんので、親御さんに確認して、65歳以上で「介護保険証」が手元にない場合には、避難元の役所に問い合わせをしましょう。

介護保険のキホン

ここで改めて介護保険のキホンについておさらいし

ておきましょう。

介護保険サービスを受けするためには「介護を必要としている」という認定すなわち、「要介護認定」を受けなければならない。この要介護認定を受けるために避難元の自治体に戻る必要はありません。避難元に住民票を残している場合でも、避難先の自治体で認定を受けることが可能です。手続きは避難先と避難元の自治体同士で連携して行つただけです。繰り返しとなりますが、まずは親御さんの現住所の最寄りの役所にある介護保険担当部署に相談します。

この後は、①市区町村等の調査員がご本人宅に訪問しての認定調査、②最寄りに主治医がいる場合、市区町村が主治医に意見書の作成を依頼してくれます。主治医がいないうち、市区町村の指定医の診察を受けます。

そして、③コンピュータによる一次判定が行われ、④要介護状態区分の認定・審査の二次判定が行われます。さらには、⑤主治医の意見書を元に介護認定審査会で、要介護認定が行われます。

認定は要支援1・2、要介護1〜5の7段階と、非該当に分かれています。

介護の負担を軽減

介護サービスには、ホームヘルパー（訪問介護員）等が居宅を訪問してサービスを提供する場合や、家族が仕事や旅行などで一時的に介護に当たれない時の「デイサービス」や「ショートステイ」などの「居宅サービス」、介護老人福祉施設などの「施設サービス」、認知症高齢者を対象とするグループホームなどの「地域密着型サービス」があり、専門家であるケアマネージャー（介護支援専門員）が担当となつて、親御さんの状況にあつた介護サービスをコーディネートしてくださいます。

避難生活を続ける中で、忙しい業務を抱え、子育てをしながら、親御さんの介護をするのは現役世代にとつて大きな負担です。「社会のちから」を活用して、少しでもこころからだの負担を軽減してみたいかがでしょうか。

（編集部・愛甲）

い／東日本大震災の被災地と埼玉県をつなげて交流したい……パルシステム埼玉「東日本大震災復興支援助成金」は、東日本大震災による被災地及び被災者への支援を行う団体に対して、パルシステム埼玉が社会貢献活動の一つとして資金面で支援していく制度です。

○応募期間 2019年9月2日（月）～10月31日（木）※当日消印有効

○助成対象期間 2020年4月1日から2021年3月31日までの1年間に実施を計

画している活動

○上限額は1件50万円

○この助成を受けられる団体は2018年度より1団体につき通算3回までとします。

○詳しくは、パルシステム埼玉ホームページ「地域貢献活動」→「震災復興支援助成金」をご覧ください（9月2日に掲載予定）。

<http://www.palsystem-saitama.coop/>

○問い合わせ；パルシステム埼玉「東日本大震災復興支援助成金」係 048-829-8961（月～金 9：00～17：00）

パルシステム埼玉「東日本大震災復興支援助成金」は、埼玉県内で東日本大震災復興のために活動している！これから活動を始める！という団体を応援します！

○東日本大震災により、埼玉県に避難している方たちをつなげたい／被災地の子どもたちに埼玉県で遊んでもらいたい／埼玉県に避難されている方たちに情報を発信した

- K w m r M
D s TM
- K•S÷ øè
x çK•ÊHĀñ±]£

Ä @ w q
çT£ çT£ • TM •
8JUİPĀ Mh† èè
x ç - > ^ œ£

ms U "
-:DH°T5Öç DxSs°£
BÊ•m -½
BÊ•Êx O^œ£

Yellow vertical bar with various symbols and characters including a red circle, a black circle, and the letter 'f'.

• _ ÔæmsU "ŠÑ £
ç + £z ç + £ • TM
• - " Ō Ō á 2 _ Ōæ
- O {œ € C
x 44/~jÖ

‘ {i† "¿ Ō
Dxs^z
ç Ō£ • TM •
„Iqyiy€C... Á%
x ç\$ {^œ£

’ K • ^ w q
T • TM •
á ŌfŌŠG BK•T’ á
NlŌClŌlv`•O Ōt á
ŌÉçµ«æµ»ç G¶²
òCljút±F2 ũ 5K•^
wqýi Si\lqq* •~
X`†q(U"ñaqms["Ō
é`£«Á
T ^m†M(-)±īÚí
"ĀY" K•^wq> • TM
ýie x ç tíœ£

“ ms U " w q
f z i µ \$ b
òC ç ú ~ « ØC.ī »
x ç òC ç b • ~ ñ ± r p f

” {† ~ "w q
x ç a > ^ œ - y ? £

• ^ MUM-
ms U " ŠÑ £
D s æ 5 Ō TM
ç æ £z ç æ £z ç æ £z
ç æ £ TM
8JUİ :PV^Mh† 'èè
ç [Ā] % • Ž % € h - i » - y N ũ ú ũ
^MUM -msU"ŠÑ £ x ç V
OBHBSJ TBJUBNB!HNBjM DPN

“ ý 2 ^ MUM
ms U " ŠÑ £
ý 2 ç x ç i y ^ œ £

© híK S g '
ç Ō £ ç Ō £ • TM
• ý t T - ½ y ~ O {œ
€ C \$ 70,
t T ç x 44/~jÖ

« SK U œ s œ ` •
ç Ō £ y • TM • Ñ « Ā Đ
ž to « ± é ī ç N w Ā 6 z Ō ç
Ā Ø Ā ç Ø " æ ī - y £ ç Ō £
ì µ Ā ž
x ç i ^ œ £

⌊ \ \ ŠÑ £ ĩ ' ý
è q à Ō " ' € ° D
° x ç ^ 3 æ ^ œ £

† C " ~ • K M • ĩ » "
~ • K M ĩ Š
D TM Ū w - Ō ç ĩ TM ĩ x Ō 8 ~
" ĩ z ĩ T ' Á % Š Ñ £ £
C " ~ • K M • ĩ » "
C " ç Y ó x ç Ê T ^ œ £

‡ b X b X w K f | ¿ Ō
ç Ō £ • TM • Æ ^ , - ½
ç Ō £ • TM • y È \ w H
Ū á - Ī Ā - È é ç Y ĩ ' h
ç T £ • TM • Ī Ç ç 3 á -
Ī Ā , • B q è - m ō \) \$ q ç
0 p ¶ 6 \$ ~ 0 ĩ ç V Ā % ç ¶
D š - ? æ 5 y • TM • y ç ½
Ō á 2 T g ' S è é q # è
ç • Ā ^ œ £

^ ĩ Ā ĩ
ĭ v ç ĩ Ā Ç £ P æ
P z æ y • TM •
© B ç µ ç V ^ M Mb \ " ¶ 6
• ĩ » " x ç { ^ œ £

Š f Ō Š G B t Y X q
{† ~ "
ç T æ ĩ l é q ĩ ũ TM
ĭ ũ ĩ ° æ ĩ é q z ç
> 4 Q o ĩ TM ĩ ũ
H È æ q ç ĩ ũ È j / " ũ 4
Ō t Ī Ç 3 á - Ī Ā , • H ° B q
è [Ā] Ī Ç ç G Ē Ī m •
Ō Ō Ā % - 7 Ū 6 ± Ō -
ø ĩ Ō ò ũ ° b Ñ † ñ ±
^ q µ µ
f » ½ ĩ Ā x µ µ
• { [• y a ^ f Ō
Š G B t Y X q {† ~ "

œ X † U • A w q ý i ç
D m f « q í Ā ĩ ½ »
> Z ^ œ £

• È \ m s U " ŠÑ £
x ç , ^ œ £

Ž S i l \ ~ " ^ q q
q * ç x ç æ < ^ œ £

• - X † ; ' t ú i š è
- ? P 5 Ō ç N ũ t " "
! È t s " Ō ũ K " † b [Š] f •
X ĩ ^ M æ b W q (\$ \$ « á Ō Š
© M V U M ± é ĩ t o æ Š ĩ 3
£ ç ' á Ū V Ē ' - Ā 6 P t m M o
ĭ š t a † b ū t " " ó H t
' S ÷ W † b [. : ç ± é ĩ b
' % q o £ 5 b W q (\$ \$ « á Ō

• ² ñ a j c Ā , y Ū á
t ĩ Ā y H s 8 Ō 3
Ī Ā TM w C B q p x z p ō w O
p w • " q " ũ T " • b X ĭ ĩ
† b { e { ° S ç ĩ t S ý ` X ĩ
^ M { ç + £ • % z ^
M h † • K ° O K Q 4 f ĩ H
B q - q Ō Đ T m
Ā ĩ • Ī U U Q G V L V T B J T Ī J F O D P ĩ M M U M - m s U " Š Ñ £
x ç ^ ^ q O o
Ā ž t £

Yellow vertical bar with various symbols and characters including a blue circle, a black circle, and the letter 'f'.

GC=V¶ aW? 3XPTUZ S
I U U Q DPN
ç 44/ B \$ È ç Ā è " « [Ā £

f Ō ? È ½ t " " Ō Ā ĩ Ā ž Š Ñ £
ç æ £ ç æ £ • TM •
M V M V ± Ū " Ā . ĩ »
~ O {œ Ž š ũ g œ € C
M V M V ± Ū " Ā . ĩ »
x 44/~jÖ

• Ō ? È Y « á Ō • Q q
M M U M - m s U " Š Ñ £
3 - è y ç P £ ç P £
TM
x ç , ^ œ £

° ± \$ B • » q
È W œ • / 100 [Ā ç - t É \$. ĩ »
? é Y " ç • G V L U M B B ! DPN
\ œ s Ø C) L ' o , " M ž w G Ā x ' T ĩ h z r
ò Y • ĩ ò • S ' D X ĩ ^ M {

4 & T V I K % : 0 W > B A H J E N { .
8 9 1 8727968 299
+ M Y ; \$ 8 d 4 5 5) _ b ' c F ' .
- / O @ V , \ 1 X * W O N M Y X P T L Z S Y L Q " [Ø
3 # [R D J K L Q R \ Z S 9 9 6 7 7 8 6 9 ! 9 U

ñ Ā (" w ¶ ĭ ç « Ā ĩ l " w Ā " » z ý Ø C x / 100 [Ā ç - t É \$. ĩ » " w x " Ū Ō " ' t K " † b ħ ĩ U U Q G V L V U B N